

令和6年度
事業報告書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

社会福祉法人 岡谷市社会福祉協議会

目 次

I. 基本理念・基本目標・総体的な取り組み	1
II. 地域福祉事業の執行状況	2～
III. 介護保険事業・障害福祉サービス事業実績報告	22～
IV. 法人経営事業実績報告	27～
V. 岡谷市社会福祉協議会事業推進組織・役職員体制	29
VI. 主たる事業・会議等の開催	29～

I. 基本理念・基本目標・総体的な取り組み

基本理念

みんなが結びつき 支えあいが重なる 共生のまちをめざして

基本目標

“つながる⇄つなげる⇄ひろげる⇄まもる”をキーワードに、基本理念の実現をめざして、以下の4つの基本目標を掲げ、事業を推進します。

総体的な取り組みについて

令和4年度にスタートした第4次岡谷市社会福祉協議会地域福祉活動計画の実施3年目として、21の区や地区社会福祉協議会との連携強化に取り組み、計画期間の前半3年間の総括を行うとともに、後半に向けた方針等の協議を積極的に行ってきた。

成年後見制度の相談に関連して、公正証書遺言の作成等の相談対応が求められるなど、終活や死後事務契約等の必要性の高まりに対応するため、令和5年度より開始した終活支援事業を今年度も継続して取り組んできた。

また、法人・事業所としての経営理念や方針の見直しと職員の育成や体制強化を目的とした第1次岡谷市社会福祉協議会経営計画の2年目にあたり、職員一人ひとりが常に自身の立場、役割に応じた、効率的な業務分担を心がけ、事業の推進に大きな効果を生むべく、職務に組み込むことを意識してきた。

その中で、近年の財政悪化に伴う経営状況の危機を脱するために職員が一丸となって取り組む中期目標として「経営改善計画」を策定し、令和7年度からの3ヶ年で健全経営に転換するべく、全職員への周知徹底に取り組んだ。

Ⅱ. 地域福祉事業の執行状況報告

基本目標 1

支えあいが つながる 地域づくりの推進

地域のお宝探し講座を中心に各地区において日常の暮らしの中の何気ない支えあいやつながりなど、気かけ合う関係の大切さや、地区や地区社協をはじめとする地域の活動の大切さについての意識啓発を行った。

併せて、市内の小中高校と連携した福祉学習会の開催やボランティア関連の講座の開催を行うなど将来に向け新たな活動の担い手に繋いでいくため、以下の事業を行った。

実 施 事 業

(1) 地域のお宝探し講座（支えあいの実態調査）

地区社協役員研修会にて本講座の説明・周知を行ったほか、講座という形にこだわらず、生きがいデイサービス・高齢者クラブ等の地域の集まりに出席し、生活課題やニーズ等の把握を行う中で、支えあいの実態調査やインフォーマル資源の発掘にも努めた。

小坂地区社協では、通算3回目の開催となるため趣向を変え、福祉推進員研修会で見守り体制の必要性や見守りのポイントにについてグループワークを行い、意見を出し合った。

地区社協の懇談会や地域での会議等に参加する際は、「お宝さがし」が地域づくりの活動、地域を考えるきっかけとなるよう、地区社協の理解、協力が必要である。

(2) 岡谷市社会福祉大会・ふれあいボランティア祭り

【岡谷市社会福祉大会】

開催日 令和7年2月15日(土) 開催場所 岡谷市カノラホール(大ホール)

参加者 約130名

【式典の部】 表 彰 43名 1企業 感謝状 4団体/企業

共同募金会感謝状 19団体/企業

【講演の部】「平時から取り組む災害への備え」～災害は他人事ではない～

Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 氏

コロナ禍による休止期間を経て一昨年度は11月、昨年度は1月開催、今年度は2月開催と、開催時期の固定化ができず参加者が減少している。本会事業の中でも特に市民の地域福祉の意識啓発のために行う最大のイベントであるため、周知方法の見直しも含め開催内容の検討が必要である。

【ふれあいボランティア祭り】

開催日時 令和6年10月12日(土) 午前9:30～午後0:30

開催場所 諏訪湖ハイツ

参加者 約350名

内容 ステージ発表・マルシェ(物販)・ボランティア交流ブース

ステージ発表には中学校吹奏楽部を含む5団体、マルシェには9団体、交流ブースには5団体の参加があった。

初めての試みとして、2台のキッチンカーに出店を依頼し、いずれも売り切れとなり盛会であった。

気温が高く熱中症になった方がいたり、後半には来場者が屋内へ入ってしまう等、来年度に向け、開催時期やタイムスケジュールの検討を行う。

(3) 社協だより「ゆめ」、ホームページ、フェイスブックの活用

・社協だより「ゆめ」

4月号「終活セミナー 受講者募集」「提供会員養成講座 受講生募集」
5月号「令和6年度岡谷市社会福祉協議会の事業」「Share☆Café 開催のお知らせ」
6月号「地区社会福祉協議会のご紹介」「サマーチャレンジ 2024 参加者募集」
7月号「会費ご協力をお願い」「ハンデサポート文化のつどい」
8月号「結婚相談事業紹介」「赤い羽根共同募金団体公募配分事業公募」
9月号「諏訪ブロック社協 ボランティア交流研究集会」「今月の地域のお宝紹介」
10月号「赤い羽根共同募金ご協力をお願い」「ふれあい祭り&ボランティア祭りのお知らせ」
11月号「岡谷市社会福祉協議会会費収納のお礼」「食品の無料支援のご案内」
12月号「特集“終活”～おいじたく～」 「地域や学校で広がる福祉教育」
1月号「能登半島地震・能登豪雨災害での災害支援について」
2月号「赤い羽根共同募金のお礼」「令和6年度岡谷市社会福祉大会について」
3月号「令和6年度岡谷市社会福祉大会の報告」「ボランティアセンター活動保険のお知らせ」

・ホームページ

本会でやる事業やイベントへの申し込みについて、ホームページから申し込みができるよう仕様を変更した。

岡谷市成年後見支援センターのセミナーなどの事業への申し込みや、ボランティアの登録更新作業をホームページで行っている。申込者の重複を防ぐとともに事務処理の負担軽減に努めてきた。

・フェイスブック

職員の募集やイベント情報等を掲載している。フォロワー数119人

(4) 社会福祉推進校事業、福祉学習会等

①社会福祉推進校事業

市内14校を社会福祉推進校に指定し、福祉教育推進のために助成金を交付し、各学校において独自の福祉に関する授業や活動を行っている。

6月10日 社会福祉推進校事業会議(市内小・中・高校・市教育委員会)

②福祉学習会

市内各学校から依頼を受け、福祉に関する学習会を開催した。

●岡谷東部中学校

6月14日 高齢者に関する学習、高齢者疑似体験

12月13日 視覚障がいに関する学習、アイマスク体験

●岡谷北部中学校

6月28日 ボッチャ交流会(地域の高齢者との交流)

7月11日 体験学習(点字・アイマスク・ボッチャ・高齢者疑似体験)

8月28日 手話講座、点字体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験、ボッチャ体験

●岡谷東高等学校

11月1日 2・3年生 聴覚障がいに関する学習(障がい当事者との交流)

11月15日 2・3年生 聴覚障がいに関する学習(障がい当事者との交流)

●岡谷南部中学校

11月25日 1年生 バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する学習

●湊小学校

11月13日 1年生 ふくしてナンダ?

11月14日 2年生 ふくしてナンダ?(障がい当事者との交流)

11月15日 3年生 障がいってナンダ?

5年生 高齢者ってナンダ?

11月21日 4年生 障がいってナンダ?

11月22日 6年生 高齢者・認知症ってナンダ?

●上の原小学校

12月2日 6年生 高齢者疑似体験

5年生 高齢者疑似体験

4年生 点字体験(障がい当事者との交流)

12月3日 3年生 アイマスク体験

12月17日 2年生 昔の遊び(地域の高齢者との交流)

地域の高齢者や障がい当事者など外部講師を招くことで、児童・生徒にとって印象に残る授業となっていることが、学校の報告からもうかがえる。

依頼の多くが11～12月に集中しており、職員の準備時間が足りない傾向にある。職員の派遣人数の見直しや授業内容のパッケージ化を進め、職員負担の軽減を図りたい。

また、より学校のニーズに沿った学習内容が提供できるように、依頼書の見直しを行い、令和7年度より運用を始める。

③出前講座

5月10日	小井川区いきいき学級	めだか	ボッチャ
5月23日	西堀桜寿会	災害についての学習会	
7月18日	カルチャーセンター	いちい学級	パラスポーツ「ボッチャ」を楽しもう
9月6日	小井川区いきいき学級	めだか	ボッチャ
9月19日	こでまり	ボッチャ	
9月20日	湊公民館	いちい学級	パラスポーツを体験してみよう(ボッチャ)
10月9日	川岸公民館	いちい学級	ボッチャ交流大会
10月11日	小井川区いきいき学級	めだか	ボッチャ
10月18日	JA信州諏訪	長地営業所	ボッチャ

地域の団体や、行政からの要請を受け、社協職員が出前講座を行った。

上記のほか、生きがいデイサービスや高齢者クラブでもボッチャ出前講座の依頼があり、対応した。

(5) 福祉教材の貸出

高齢者疑似体験セット	6回	29セット
点字練習器	1回	30セット
アイマスク	1回	30セット
車いす(岡谷東高校)	1回	6台

(6) ボランティアセンターの運営

・ボランティアセンター事業

登録数は団体が48団体（企業含む）、個人が19名であった。

活動先を探しているボランティア団体や個人と、ボランティアを必要としている団体や個人をマッチングすることができた。件数としては昨年度より10件ほど増えた。

特に高齢者施設から催し物をしてくれる訪問ボランティアの依頼が多く、以前も相談のあった施設から、次回の催し物に向けての再依頼もあった。

相談件数	22件	マッチング	14件	新規ボランティア登録	5件
------	-----	-------	-----	------------	----

・朗読講座

岡谷市朗読の会まどかに講師を依頼し、9月4日から合計で5回の講座を開催、6名が受講した。声の広報事業に協力してくれるボランティアの高齢化に伴い、事業の継続が難しくなっている。

基本目標 2

支援を つなげる 体制づくりの推進

日常の様々な困りごと、生活課題に対して、気軽に相談できる窓口として福祉総合相談事業（心配ごと相談）をメインに、断らない相談を目指し相談体制の強化と職員のスキル向上に努めてきた。

また、生活支援体制整備事業の推進や重層的支援体制整備事業の開始に向けて、包括支援センターの保健師や行政の担当課などとの連携・情報共有についても検討するなど、行政や専門職との連携強化を意識しながら事業を行ってきた。

実 施 事 業

（１）福祉総合相談（心配ごと相談）事業

開設日数	244 日（4 月 1 日～3 月 31 日）
延べ相談件数	222 件（権利擁護・貸付関係相談件数含まず ※別途掲載）
【相談内容・対応先等内訳】	
・福祉総合相談 53 件（他機関等紹介）・生活困窮 54 件・ボランティア関係 39 件	
・育児関係 32 件・まゆっこ関係（有償サービス）30 件・その他（介護保険等）14 件	

相談の多くは、依然として貸付、生活困窮等の内容が多く、貸付担当者やまいさほ岡谷市など関係機関につなげ対応してきた。その他の相談についても、介護保険事業所や他の担当者も含め、必要に応じて他機関に連絡をとるなど「断らない相談支援」に努めている。

（２）結婚相談事業

相談者数	男性 13 名	女性 13 名	親族等 3 名
令和 6 年度新規登録者	男性 8 名	女性 1 名	
3 月 31 日現在登録者数	男性 18 名	女性 6 名	お見合い件数 3 件

岡谷市、諏訪信用金庫主催のイベントを紹介するなど他団体との連携を図り、登録者に情報提供を行った。

(3) 生活支援体制整備事業（岡谷市受託事業）

生きがいデイサービス・高齢者クラブ・ふれあいいきいきサロン等に参加し、高齢者の生活課題やニーズ等の把握を行った。また、区長や地区社協会長に聞き取り調査を実施し、地域の実情や地域として把握している高齢者の生活課題についての把握に努めた。並行して介護福祉課と連携し、ケアマネ部会にて支援者の感じる高齢者の生活課題や現状についてアンケート調査を行った。

さらに、諏訪圏域の市町村社協から生活支援体制整備事業の取り組みや現状について聞き取りを行った。

現在ある地域の活動や取組を広めるべく、各区や地区社協の事業や行事への取材、周知等、地域活動の情報発信を継続して実施した。

- | | |
|--------|---------------------------------|
| 5月14日 | 高齢者の参加する運動サークルの聞き取り（スポーツ振興課） |
| 6月5日 | 住民向け研修の作り方・実践講座（生活支援コーディネーター）研修 |
| 6月12日 | 和が家訪問 とくし丸取材 |
| 6月17日 | 認知症出前講座 |
| 6月28日 | 在宅医療介護連携 職能部会 |
| 7月8日 | 小井川移動サービス情報交換会 |
| 7月17日 | 地域福祉ネットワーク会議打合せ |
| 7月18日 | 信州くらしの支え合いネットワーク研修 |
| 7月23日 | 認知症地域支援推進員交流会 |
| 7月25日 | ウェルシア「うえるたん号」説明会 |
| 7月26日 | 介護福祉課・和が家打合せ |
| 9月4日 | 川岸民生委員定例会 |
| 9月10日 | ケアマネ部会 |
| 9月18日 | 生活支援の取り組みについて諏訪市社会福祉協議会に訪問 |
| 9月30日 | 地域福祉コーディネーター総合研修（第1回／全4回） |
| 10月1日 | 地域福祉コーディネーター総合研修（第2回／全4回） |
| 11月1日 | 地域福祉ネットワーク会議打合せ |
| 11月15日 | 地域福祉コーディネーター総合研修（第3回／全4回） |
| 12月16日 | 区長会に出席 聞き取り調査の報告を行う |
| 11月27日 | 地区社協会長会視察研修（東御市社会福祉協議会） |
| 12月20日 | 小坂区・エリア創星会買い物支援トライアル |
| 1月28日 | 長野県・移動サービス事例報告会 |
| 1月30日 | 介護福祉課・和が家打合せ |
| | 地域福祉ネットワーク会議 |
| 2月15日 | 岡谷市社会福祉大会 |
| 3月5日 | 介護福祉課・環境課・和が家打合せ |
| 3月12日 | 地域福祉コーディネーター総合研修（第4回／全4回） |
| 3月19日 | 介護福祉課・和が家打合せ |
| 3月～ | 岡谷市「暮らしのサービス紹介」の発行準備 |

(4) 生活困窮者等支援事業

・生活福祉資金貸付事業（長野県社協受託事業）

生活福祉資金貸付相談	37 件	貸付件数・貸付額	1 件	100,000 円
------------	------	----------	-----	-----------

貸付希望者からの相談は、引き続き多い状況だが、多重債務の状態や、要件に該当しないため貸付に至らないケースが多くあった。貸付要件に該当しない場合には、まいさぼ岡谷市や弁護士等の専門職へ繋いでいる。

・特例貸付相談支援体制強化事業

特例貸付に関する相談	53 件
------------	------

新型コロナウイルス特例貸付については、令和5年1月から償還が始まり県社協やまいさぼ岡谷市と連携しながら債務者の対応にあたっている。現在も償還が難しい方が多く返済ができない方が多い。また滞納中の債務者へ相談を受け付けていることを伝える通知を行った。

・助け合い資金貸付事業

貸付相談	32 件			
貸付件数・貸付額	9 件	101,200 円	償還件数・償還額	9 件 88,300 円

・フードバンク

受け入れ 件数	31 件	(米、缶詰、お茶、お菓子、レトルト食品)		
払い出し 件数	117 件	(米、缶詰、お茶、お菓子、レトルト食品等)		
				実人数 34 名

払い出し件数や利用者数が増えてきている。フードバンクの認知が進むとともに生活に困っている方が多くいることがうかがえる。

提供いただいたお米などは、市内の事業所やこども食堂へ提供した。

繰り返し利用する方が多くあり、フードバンクの提供と共に相談支援を実施し他の制度へ繋いでいる。

・日用生活品緊急支援（長野県社協事業）

日用品セットの配布事業で9件の利用があった。

・生理の貧困事業

令和3年度から始まった市の事業を引き継ぎ、生理用品の寄付の受付、相談者等への配布（昼用・夜用で1セット）を行った。

寄付	7 袋	在庫数	66 袋
配布数	19 セット(貸付・生活困窮相談者へ)		5 セット(社会福祉課へ)

(5) 地域サポートセンター事業

区長会会長（小口区長）、サポートセンター長（間下区長）、社会福祉課、介護福祉課と会議内容について協議を行い、それをもとに 1 月 30 日にネットワーク会議に参加した。

(6) 地区社協活動への支援・連携

地区社協基盤強化助成金	21 地区	2,310,000 円
福祉推進員助成金	337 名	337,000 円
地域福祉活動振興補助金		3,119,890 円

4 月 16 日 地区社協会長会 役員研修会

4 月 22 日 地区社協会長会 監査会

5 月 7 日 花岡区 ボランティア会議

6 月 11 日 東堀特殊詐欺被害防止講習会

6 月 14 日 地区社協会長会総会

6 月 21 日 西堀七夕交流会

下 6 ヲ区地区社協研修会

7 月 4 日 上浜たなばた昼食会

7 月 23 日 岡谷区高齢者昼食会「ふれ愛会」

8 月 27 日 地区社協会長会 懇談会

9 月 13 日 長地 4 地区福祉懇談会

9 月 16 日 上浜区敬老会

10 月 17 日 橋原区保育園児と交流会

11 月 27 日 東御市社会福祉協議会・地区社協会長会視察研修

12 月 11 日 小坂区・エリア創星会買い物支援打合せ

1 月 31 日 市長・地区社協会長会懇談会

2 月 12 日 小口区交楽の会取材

東御市社会福祉協議会の支部組織（岡谷市では地区社協）の取り組みについて学び、情報交換を行った。1 月には市長・地区社協会長会懇談会を開催し、市政や福祉に関して現状の確認、情報共有や意見交換をする機会となった。また、地区社協の行事や取り組みを取材し、周知啓発に努めた。

(7) 子どもの居場所・子ども食堂への支援

今年度より岡谷市子ども食堂等関係団体連絡会に参加し情報交換を行った。フードバンクのお米をこども食堂へ提供している。

2 月 27 日 第 2 回子ども食堂等関係団体連絡会

(8) ふれあいいきいきサロン

登録グループ数・会員数	5グループ 97名
-------------	-----------

「夕日山お元気かい」より認知症の参加者についての相談、100回記念の会の開催についての相談を受け、ボランティアグループとマッチングを行った。

今後も登録団体とコミュニケーションをとりながら、どのような支援が必要とされているのか、また、どのような支援ができるのかを考えていく。

(9) まゆっこサポート（住民参加型在宅福祉サービス）事業

・家事援助

登録利用会員	21名	登録協力会員	12名
延べ利用回数	260回	延べ時間	266時間
相談件数(総数)	22件		

本サービスで対応できない相談については、暮らしのサービス紹介を活用し、他機関が行っているサービスを紹介した。

継続的なサービス利用者において、認知症の進行により協力会員とのトラブルに発展する可能性が高く、サービス提供を中止したケースがあった。

・団体保育

団体預かり 依頼件数	96件	預かった子どもの延べ人数	約478名
------------	-----	--------------	-------

シンコースポーツ、こどものくに、岡谷市工業振興課、川岸女声コーラスからの託児依頼に対応した。当日キャンセルの場合は依頼団体にキャンセル料金を請求し、待機、準備していた協力会員に支払いをしている。

(10) 育児ファミリー・サポート・センター事業（岡谷市受託事業）

登録会員数	依頼会員	33名	提供会員	24名	両方会員	なし（R7.3.31現在）
年間延べ利用回数		20回	託児実人数	5名	相談件数(総数)	22件
託児理由	きょうだいの会議参加 保護者通院のため 保護者の仕事のため					

緊急での依頼や突発的な利用相談、夕方から夜間にかけての預かりや長時間にわたる預かりについての相談があるが、マッチングが難しい状況であった。複雑な状況にある家庭に対しては、関係機関と情報の共有、提供会員と打ち合わせを重ね対応した。

提供会員養成講座に新規5名の申し込みがあり、その内1名が提供会員となった。

提供会員養成講座

- 第1回 5月30日 子育てを取り巻く状況、子育て支援サービスについて
第2回 6月13日 保育の心、子どもの生活へのケアと援助
第3回 6月27日 小児看護の基礎知識、リスクマネジメント
第4回 7月11日 心の発達と保育者のかかわり、障がいのある子の預かりについて
第5回 7月18日 普通救命講習Ⅲ
第6回 8月1日 子どもの遊び、子育て支援サービスを提供するために

(11) 障害者地域生活支援事業（岡谷市受託事業）

・手話奉仕員養成講座

年間を通じた講座であるため、家庭や仕事の都合で続けられない方が多かった。4市町から参加者があり、講座を修了した。令和7年度より指導内容が変更となるため運営委員会を開催し準備を進めた。

入門課程 18回 2時間	受講者 23名
基礎課程 23回 2時間	受講者 17名 修了者 16名

・手話フォローアップ講座

手話奉仕員養成講座修了者対象	5回開催	12名参加
手話通訳者対象	5回開催	5名参加

・手話通訳者、要約筆記通訳者派遣事業

手話通訳者派遣	21回	35名（イベント・病院付添等）
要約筆記者派遣	4回	17名

・手話通訳者設置事業

相談	10回（手話通訳者の派遣について・手話奉仕員養成講座の運営について）
----	------------------------------------

・地域活動支援センター（ひだまりの家）管理運営事業

開所日時	週5日（月～金） 9:00～15:00
開所日数	244日
定員	10名
延べ年間通所者数	1,631名（前年比 420名増）
1日平均通所者数	6.7名（前年比 1.8名増）
年間在籍通所者実数	27名（男性10名 女性17名）
新規利用者数	11名
退所利用者数	4名
通所希望見学者	14名 延べ体験日数 59日
行事等	カラオケ会・スポーツ（バドミントン、卓球、ボッチャ等） デザート会・食事会・忘年会・クリスマス会・新年会等

新規利用者が11名あり、通所者数の増加が続いている。体験、見学者も増加しており、令和6年度は初めて、諏訪養護学校高等部の学生の見学が3件あった。

退所者は4名（転居1名、他サービス利用2名、障がい者枠就職1名）であったが、その内2名は退所後も精神面の支援が必要で電話相談が続いている。

利用者の大半は精神障がい者であり、体調、生活、対人関係等の不安、悩み事が常にある利用者が多く、電話、メール、来所しての個別相談を丁寧に行った。

必要に応じて家族の付き添い、悩みごとの相談を行うなど、家族の支援も行うことで安心して通える環境づくりに努めた。

また、日々の活動もできる限り利用者の要望に沿い、家族、ボランティアの協力も得ながら、皆が楽しめる場所を目指し活動を行ってきた。

利用者にはそれぞれ、うつ、幻聴、被害妄想、感情失禁、自傷など特性があり、不仲の利用者の関係づくりなど支援に苦慮する場面も多く、通所環境への配慮、市職員や家族に対応方法の相談を行うなどの対応をとってきたが、今後は医師等の専門職への相談を含め、関係者の連携強化、職員の知識とスキルの向上がさらに必要と感じている。

（12）車いす移送車レンタカー事業・車いす貸し出し事業

・車いす移送車レンタカー事業

貸出件数	88 件
------	------

前年度と比較し、貸出件数は32件増加した。通院目的での利用が多いものの、帰宅、外出、外食等様々な目的での利用があった。

約半数の利用者が今年度より初めて利用された方で、いずれも定期的に使用している。引き続き「生活圏の拡大」につなげるよう、事業の周知を図るため情報発信を行っていく。

・車いす貸し出し事業

貸出件数	38 件
------	------

前年度と比べ貸出件数は4件増加した。利用目的に応じて自走タイプか、介助用タイプかの確認、加えて折り畳み機能の紹介をした。実際に試乗してもらいご希望に沿ったものを貸し出すことが出来た。目的としては外出が多く、その内容は様々だが遠出や旅行での利用もあった。その他、受診やケガでの利用があった。

（13）Share★Café 事業（家庭介護者交流・相談事業）

前年度は、開始時間から終了時間までの間、出入り自由という形であったが、午後から参加された方より「グループができ上がったところには入りづらい」という意見があったため、令和6年度は、午前と午後の2部制としたところ、入りづらさを訴えた参加者はいなかった。

参加者からの満足度はおおむね高いものの、参加者が増えないことが課題である。利用しやすい会場選びや周知方法など、参加者を増やすための工夫が必要である。

基本目標 3 参加・協働を ひろげる 仕組みづくりの推進

生きがいデイサービスや高齢者クラブ、ボランティア活動、広くは趣味の集まりなどを社会や地域への参加のきっかけと捉え、その活動の大切さや意義を広める活動を進めてきた。

障がい者や子どもたちに対しても社会や地域とのつながりを意識した事業を展開してきた。

また、それぞれの活動や事業が相互理解を深め、連携・協力しながら継続していけるよう支援を行ってきた。

実 施 事 業

(1) ボランティア体験事業（サマーチャレンジ）

受入れ協力施設	31 施設	高齢者福祉施設	11 施設	障がい者施設	4 施設
		保育園・子育て支援館	14 施設	公共施設	2 施設
		社協事業	1 施設		
参加申し込み者	77 名	中学生	62 名	高校生	15 名

昨年度より WEB 申し込みの導入と、ホームページ上で予約状況の公開を行っており、申し込み作業の円滑化につながっている。昨年度の参加者数 93 名に対し今年度参加者数は 77 名と減少した。

参加者からは「園児との交流の中で子どもが笑顔になることにやりがいを感じた」、「障害のある方と初めてかわり知見が広がった」という声が聞かれた。

受け入れ施設からの参加者への評価もおおむねよく、振り返りシートでは「性格の違いや、年齢による発達の違いを感じながら手伝ってくれた」、「利用者や園児、職員にも常に笑顔で接してくれた」などのコメントが見られた。

(2) 生きがいデイサービス事業（岡谷市受託事業）

（66グループ／ 547名 利用登録）

1月に新たに1グループが立ち上がり、年度末時点で66グループが活動している。年間1,550回の開催ができ、延べ8,852名の参加があった。今年度も年間で60名超の新規申請があったものの、退会も一定数あり、利用登録者数は昨年度末と同程度となっている。

今年度、生きがいデイ中に誤嚥の事故があり、ボランティアリーダー養成研修では介護施設職員から嚥下体操を習う回を組み込んだ。また、参加者等の認知機能の低下が気になるといった相談が入るようになっており、相談があった場合は当該グループを訪問し、援助員と共に対応を検討した。参加者の高齢化に伴い課題も出ているが、見守りの機能が発揮されるケースも見られている。

地区ごとの利用登録者数

地区	人数	地区	人数
今井	30 名	小坂	7 名
間下	45 名	花岡	10 名
岡谷	21 名	三沢	16 名
下浜	5 名	新倉	27 名
小尾口	7 名	駒沢	15 名
上浜	11 名	鮎沢	5 名
新屋敷	15 名	橋原	6 名
小口	19 名	東堀	42 名
小井川	82 名	中村	31 名
西堀	133 名	横川	20 名
計 547 名			

開催回数 1550回
参加人数 延べ8852名

(3) 各種団体事務

・岡谷市高齢者クラブ連合会

(12 単位クラブ／652 名参加)

昨年度と同様クラブ数は 12 クラブであるが、会員数は 37 名減少した。

連合会を脱退した地区に対しても、一般会員として事業に参加できる体制づくりを検討している。今年度はカラオケ芸能大会にて、直近で脱退した地区を中心に一般会員の参加を呼びかけ、間下区から 3 名の参加があった。引き続き参加方法や会費等を検討しながら進めていく。

11 月には名古屋市笠寺学区老人クラブ連合会との交流会を実施、意見交換をとおして今後と向き合う機会となった。令和 6 年能登豪雨災害に際して、硬貨募金より義援金の寄付を行った。

5 月 22 日 総会 開催
6 月 26 日 手芸教室 開催
6 月 11 日 長野県シニア連 ブロック研修会 参加
7 月 18 日 長野県シニア連 女性指導者研修会 参加
7 月 17 日 ボウリング大会 開催
9 月 25 日 ボッチャ大会 開催
10 月 30 日 マレットゴルフ大会 延期ののち中止
10 月 31 日 長野県シニアクラブ大会 参加
11 月 20 日 カラオケ芸能大会 開催
11 月 25 日 名古屋市笠寺学区老人クラブとの交流会 開催
2 月 22～24 日 作品展
2 月 22 日 娯楽大会
10～12 月 信州まるごと健康チャレンジ 参加 ・ 硬貨募金

・おかやボランティア連絡協議会

会員は2団体、2名減少し、現在は8団体と10名となっている。

交流会、研修会は新聞広告等を活用し、会員以外の参加者も多く集まった。懐かしの歌を歌ったり、歌いながらダンスをしたりと、みんなと一体になれる場になった。また、他の団体が主催する行事にも積極的に参加することができ、健康につながる様々な学びを得た。

ふれあい・ボランティア祭りは、OVN 役員の負担軽減に向け、共催団体としてではなく、1つのブースを担当する形とした。

4月 6日	能登半島地震被災地支援チャリティーコンサート	開催
4月25日	諏訪湖周囲環境整備	
6月14日	研修会「生活の中で出来るながら運動」	開催
7月 6日	市民公開講座「血糖値から学ぶ糖尿病」	参加
8月 2日	交流会「短冊に願いを込めて歌おう」	開催
8月14日	岡谷太鼓祭り「ふれあい踊り連」へ参加	中止
8月23日	「脳を鍛える“活脳トレーニング”」(岡谷市介護予防講演会)	参加
9月28日	ふれあいの集い	参加
10月 1日	諏訪ブロックボランティア交流研究集会	参加
10月12日	ふれあいボランティア祭り	
12月20日	研修会 ボッチャ交流会	開催
1月24日	障がい理解のための学習会	参加
2月15日	岡谷市社会福祉大会	参加
3月28日	総会・リバイバルダンス「みんなで昭和歌謡で踊ろう」	
3月29日	総会・講演会「生活に役立つ薬の話」	

・岡谷市障害者福祉推進実行委員会

1月24日(金) 岡谷市役所において、「失語症について ～上映会「言葉のきずな」～」と題し学習会を開催した。映画上映のあとに「長野失語症友の会」から失語症について講話があり約100名の参加があった。

【事業】

- ふれあいの集い(ぶどう狩り) 9月28日(土) 土田園
- ボッチャ体験コーナーの設置 12月16日(月)から12月27日(金) 諏訪湖ハイツ ロビー
- 障がいについて理解するための学習会 1月24日(金) カノラホール 小ホール
「失語症について ～上映会「言葉のきずな」～」
- 岡谷市障害者地域生活支援事業(岡谷市委託事業)
 - 7月10日(水) ハンデサポート 文化のつどい
 - 9月14日(土) 岡谷市福祉大運動会 小井川小学校
 - 10月2日(水) 環境美化ボランティア活動 諏訪湖ハイツ周辺
 - 12月7日(土) 障がい者ボウリング大会 スポーツ岡谷
 - 2月7日(金) 3B体操 諏訪湖ハイツ

【機材・遊具等貸出】 ボッチャ貸出 63件 貸出日数145回

・長野県共同募金会岡谷市共同募金委員会

6月25日 審査委員会(実績報告・目標額の設定) 6月28日 運営委員会
9月24日 説明会 10月1日から12月31日 共同募金運動
2月18日 審査委員会(令和6年度共同募金実績報告・令和7年度配分について)

(4) 福祉推進員活動の充実

地区社協から依頼を受け、職員が訪問し、福祉推進員の活動について説明を行った。

基本的な考え方となる「つながる・気づく・つなげる・ひろげる」についての説明、民生委員・児童委員と福祉推進員との連携についての説明を行い、地域におけるネットワーク強化の推進を図った。また、地区社協会長会を通じて区ごとの福祉推進員の活動を確認し、友愛訪問等の活動の取材を行った。

(5) 諏訪ブロック社協事業（当番社協：諏訪市社会福祉協議会）

ボランティア担当者会議では、サマーチャレンジについて各市町村の様子や工夫した点等について情報共有や地域で活躍するボランティア団体や個人ボランティアの情報交換を行った。

5月14日 7月25日 9月30日 1月16日 ボランティア担当者会議
7月8日 9月12日 事務局長・次長会議
8月8日 総会 10月6日 ボランティア交流研究集会
1月23日 役員及び職員合同研修会

基本目標 4

暮らしの安全・安心を まもる 環境づくりの推進

様々な相談に対し、意向や事情をよく踏まえたうえで、「成年後見制度」の利用を進めるなど、関係機関との連絡調整とネットワーク構築等を行う中で、その人の権利を守り、その人らしく生活が送れるよう支援を行ってきた。また、行政や専門職との連携強化を図るとともに、専門知識を持つ職員の確保や養成に力を入れてきた。

また、自然災害や新型コロナウイルス感染症などに対しても、迅速に対応し、スムーズな事業運営が行えるよう体制づくりをすすめてきた。

実施事業

(1) 権利擁護事業の推進

・日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

相談援助件数内訳

実利用者 61 名

対象者 事 項		認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	対象外
相談援助件数		1,015 件	735 件	1,039 件	23 件	0 件
内訳	問合わせ	10 件	1 件	12 件	14 件	0 件
	初回相談	8 件	1 件	9 件	9 件	
	相談援助	997 件	733 件	1,018 件	0 件	
利用援助回数		延べ 2,029 回	利用料が発生する支援回数			
訪問調査回数		延べ 121 回	利用料が発生しない専門員が訪問した支援回数			
ケース検討会議		延べ 118 回				

契約数・解約数

契 約	本年度契約件数 6 名（内 生活保護 1 名）	累計 332 名
解 約	本年度解約件数 15 名（内 生活保護 1 名）	累計 271 名

今年度も専門員5名、支援員1名体制で支援を行ってきた。

令和6年度から引き続き、支援員に多くの業務に従事してもらうことで効率化を図り、専門員は相談やより複雑で専門性が高い支援に取り組むことが可能となった。

今年度は長野県社協の適正化事業に伴い、全利用者の現状と今後の方向性をチーム内で検討し、他機関や岡谷市社協独自で行っている金銭管理・財産保全サービス事業へ繋いだ。

本サービスの問い合わせや相談は、毎月1件～5件程度で、特に春と秋に増加する傾向にあった。初回の相談が入った時点で聞き取りや制度の説明を行い、必要に応じて自宅訪問や支援者会議を重ねるが、本人が困りごとを伝えられないケースも多く、契約に至るまで事業内容のわかりやすい説明、丁寧な聞き取りを行うことで信頼関係を深めながら進めるとともに、関係機関へのさらなる事業の周知と早期の相談などを呼びかけてきた。

【研修・説明会参加】

6 月～1 月	社会福祉士基礎研修Ⅲ
8 月 20 日	日常生活自立支援事業説明会
9 月 18 日	第 1 回日常生活自立支援事業専門員連絡会議
12 月 19 日	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会現任者研修
12 月 26 日	第 2 回日常生活自立支援事業専門員連絡会議
3 月 17 日	第 3 回日常生活自立支援事業専門員連絡会議

・金銭管理・財産保全サービス事業

日常生活自立支援事業の対象外となるが、支援が必要な方に対し岡谷市社協が独自で行っている金銭管理事業である。

今年度は、日常生活自立支援事業から本事業への移行や新規相談の増加により、契約件数も増えた。

法人後見事業、日常生活自立支援事業と共に、1月から3月にかけて、全ケースの書類・預かり金・預かり物・支援内容のチェックを2人体制で行った。今後も定期的に確認を行い、適切な管理・支援に努める。

本年度契約件数	6 件	本年度解約件数	2 件	実利用者数	14 名
---------	-----	---------	-----	-------	------

・岡谷市成年後見支援センター運営（岡谷市受託事業）

開所から6年目を迎え、令和4年3月からは、市と協働する「中核機関」の位置づけとなった。年々、広報・啓発活動の効果もみられ、新規相談・継続相談（対応）ともに増加している。

諏訪6市町村においては、月1回行われる4センター連絡会に参加したほか、外部講師による行政職員・福祉関係者に向けた成年後見の制度概要や市町村長申立て手続きについてのスキルアップ研修会を実施した。

更に、諏訪圏域の行政と4センターで今後の成年後見制度利用促進に係る関係者会議を開催し、受任調整会議の仕組み作りや制度の利用促進に向け、より一層の多機関協働に向けた検討を進めることとなった。

市民向けとしては、昨年度に引き続き、終活支援事業として外部講師による「成年後見制度」に関する講座や「エンディングノート」、「家族信託」、「遺言書」をテーマにしたセミナーを開催した。

また、奇数月には、市役所にて「成年後見制度特設相談会」を設け、15件の相談に応じた。

成年後見制度に対する市民のニーズが高まる中、中核機関として岡谷市との協働のもと、引き続き、広報・啓発を行うとともに相談支援体制の強化を図っていく。

新規相談件数		101 件	継続相談件数		431 件	相談者数(実人数)		188 名
相談件数合計		532 件	内 完了件数		233 件	内 継続件数		299 名
法人後見の状況			現在の後見人等の受任件数			6 件		
対象者別	認知症		150 名	相談内容		問合せ・相談		147 件
	知的障がい		274 名			申立て支援		22 件
	精神障がい		79 名			継続支援		354 件
	その他		29 名			家裁への手続き		8 件
						法人後見受任		3 件

【相談者機関別】※件数の上位5項目（ ）は、全件数に占める割合

- ・本人 333 件(62.6%) ・親族・家族 84 件(15.8%)
- ・行政(市内)※岡谷市包括含む 46 件(8.6%) ・ケアマネジャー(介護) 27 件(5.1%)
- ・その他(ヘルパー等) 8 件(1.5%)

※後見関係の専門職、医療機関の関係者、司法関係者、障がい者施設の関係者等からの相談があった。

【主な会議・打合せ・研修等】

・岡谷市成年後見支援センター運営委員会	計 3 回
・終活講座・セミナー	計 5 回
・特設相談会	計 6 回
・諏訪地域 4 後見支援センター連絡会	計 11 回
・諏訪地域 4 後見支援センタースキルアップ研修会	計 3 回
・諏訪地域成年後見制度利用促進に向けた体制整備に係る関係者会議	計 3 回
・持続可能な権利擁護支援モデル事業	計 1 回
・身寄り問題を考えるセミナー	計 1 回
・長野県司法書士会との相談についての意見交換会	計 1 回
・長野県内法人後見連携会議、センター等県域連携会議	計 1 回
・長野県内成年後見支援センター実務者勉強会	計 1 回
・高齢者クラブ(エンディングノートについて)講師	計 1 回
・八十二銀行の職員(日常生活自立支援事業、成年後見制度について)講師	計 1 回
・在宅医療介護連携推進事業 多職種連携研修会(講師)	計 1 回
・社会福祉士会基礎研修Ⅲ	計 8 回

・法人後見事業

岡谷市社協による「法人後見」を6件受任しており、担当職員を中心に継続的な相談支援を行うとともに、適切かつ適正な財産管理等を行い、不正防止等に配慮している。

(2) 災害時救援活動体制の整備

・災害ボランティアセンター（災害発生時）の運営 対応なし

・県内災害時相互応援協定等による被災地への職員派遣

令和6年能登半島地震災害及び令和6年奥能登豪雨災害における被災地支援

6月17日～6月21日 長野県社会福祉協議会からの依頼に基づきDSAT派遣として、能登町災害ボランティアセンターへ派遣。被災地災害ボランティアセンターの運営支援、助言等を行った。

9月22日～9月27日 都道府県災害応援協定および県内災害応援協定に基づき、関東ブロック応援社協として石川県珠洲市災害ボランティアセンターへ派遣。被災地災害ボランティアセンターの運営支援を行った。

10月24日～10月29日・11月14日～11月19日 全国災害活動支援プロジェクト会議からの依頼に基づき災害ボランティアセンター運営支援者として石川県珠洲市災害ボランティアセンターへ派遣。被災地災害ボランティアセンターの運営支援、助言等を行った。

・災害ボランティア活動パック

令和6年能登半島地震における被災地支援の一環として、市内外からボランティアを募集し、5月21日～5月23日 石川県能登町で災害救援ボランティア活動を行った。

ボランティア活動者数 4名（男性1名・女性3名） 同行職員2名 計6名

11月2日から11月4日 石川県珠洲市で災害救援ボランティア活動を行った。

ボランティア活動者数 7名（男性1名・女性6名） 同行職員2名 計9名

・市内罹災者に対する見舞事業

県社協見舞金 2件（火災）5世帯 計 40,000 円 市社協見舞金 4件（火災）7世帯計 140,000 円

・長野県あんしん創造ねっと（県社協事業）

医療受診等支援事業 1名 買い物等同行支援事業 1名

生活に困窮しており、福祉サービスにつなげていない方が利用している。障害者手帳取得のための支援など、福祉サービスの利用へつなげていきたい。

そのほか、買い物に同行し家計改善に向けた支援を行った。

（3） おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）管理経営事業（指定管理事業）

開館日数		温泉施設	308 日	月平均	25.6 日
		生涯学習施設	347 日	月平均	28.9 日
開館時間		温泉施設	10 時～21 時 30 分		
		生涯学習施設	9 時～21 時 30 分		
休 館 日		温泉施設	毎週水曜日		
		生涯学習施設	毎月第 3 水曜日		
入館者数	有料入館者	温泉施設(合計)	72,089 名 (前年比 16,413 名減)		
		大 浴 場	62,465 名 (前年比 16,160 名減)		
		リハビリ施設	7,881 名 (前年比 100 名減)		
		福祉家族風呂	786 件 1,743 名(前年比 81 件減 153 名減)		
		生涯学習施設	延べ 7,402 団体 75,089 名(前年比 28 団体減 1,315 名増)		
	無料入館者	大 浴 場	12,635 名 (前年比 2,191 名減)		
		生涯学習施設	延べ 1,086 団体 16,340 名(前年比 124 団体減 337 名増)		
		足 湯	8,794 名(888 名減)		
		ロビー・ヘルストロン等	24,706 名 (前年比 465 名減)		

おかや総合福祉センター全体の利用者は19万人で、前年度に比べ2.1万人減少となった。特に、65歳以上の利用が1.4万人減少、障がい者の利用が2,300人減少した。

大浴場の大規模改修工事のため10月1日から12月16日まで温泉施設の休止期間があったことが主な要因である。

その内訳は、温泉利用者7.2万人で前年度に比べ1.6万人の減少、研修室利用者は7.5万人で前年度に比べ1,300人の減少、その他利用者は3.2万人で前年度に比べ4,200人の減少となっている。

全体の収入は、2,010万円で前年度に比べ143万円の減少となった。

温泉施設の収入は、1,292万円で前年度に比べ180万円の減少であったが、研修室利用の収入は、718万円で前年度に比べ36万円の増加であった。

今後も岡谷市と連携を取りながら「利用者の安全・安心」に取り組み、福祉施設としての機能を活かしつつ、利用者数の維持及び増加に向け、さらなる利用者ニーズの把握と対応に努めていきたいと考えている。

Ⅲ. 介護保険事業・障害福祉サービス事業実績報告

居宅介護支援事業所・相談支援事業所

① 提供サービス実績

ア 居宅介護支援事業（要介護認定利用者に対する支援計画作成）

介護区分	延べ人数	月平均	前年比(月平均)
要介護 1・2	1,173 名	98 名	6 名増
要介護 3・4・5	418 名	35 名	5 名増
合 計	1,591 名	133 名	11 名増
介護支援専門員 1 人あたり		27 名	7 名増
令和 6 年度新規契約者数	68 名		

イ 介護予防支援業務（要支援認定利用者に対する支援計画作成/市受託事業）

介護区分	延べ人数	月平均	前年比(月平均)
要支援 1・2	262 名	22 名	8 名増
介護支援専門員 1 人あたり		4 名	1 名増
令和 6 年度新規契約者数	2 名		

ウ 特定相談支援事業（障がい者に対する障害福祉サービス等利用計画作成）

利用者数	前年比	計画作成数	前年比	継続支援回数	前年比
126 名	56 名増	133 件	58 件増	402 件	227 件増
令和 6 年度新規契約者数		71 名			

エ 障害児相談支援事業（障がい児に対する障害福祉サービス等利用計画作成）

利用者数	前年比	計画作成数	前年比	継続支援回数	前年比
12 名	6 名減	18 件	2 名増	43 件	8 件増
令和 6 年度新規契約者数		3 名			

② 朝礼および定例会

毎朝のミーティングでは、全職員が当日の訪問予定、前日の訪問時状況を必ず報告することで、利用者の現状を確認しあい、情報共有を図った。それにより、担当者不在時でも対応できるようになった。

週に 1 回の定例会では、困難・虐待事例の進捗状況の共有を行うことで、ケースへの理解が深まり一人で抱え込むことを解消し事業所全体で関わる意識が芽生えた。月 1 回の同行訪問では、独居や課題があると感じているケースに担当者以外の職員が同行することで、助言が具

体的になり視野を広げることができた。また、同行することで担当者以外の職員が利用者と面識ができ、災害時など担当者以外でも対応できる仕組みづくりにつながった。

③ 勉強会・事例検討会

質の高いサービスを提供することを目的に職員は常に自己研鑽に努めるとともに、月1回勉強会を開催し、事例検討会や各種研修を実施した。事例検討会では、事業所全体で対応方針を決定すべきケースについて確認しあった。また、他事業所との合同事例検討会を実施し多角的な視点で助言を得て事例の理解を深めた。研修の内容として、BCP訓練では、研修内容と事業継続計画をもとに発災時の動きをシミュレーション訓練した。また、外部から講師を招き、看取り時の対応についての研修を受けて学びを深めた。

勉強会以外でも、事業所全体での研修や外部研修へ積極的に参加した。

その他、年に1回の業務内容や手順の標準化、不備の解消を目指して業務マニュアルに沿って全ケース確認し帳票類の整備を実施した。

④ 地域への貢献

介護支援専門員初任者研修実習生の受け入れ 2名
岡谷市在宅医療介護連携推進検討委員会への参加
諏訪広域連合介護保険審査会委員を担当
ケアプラン点検推進業務への参加

⑤ 令和6年度総評

令和6年度は、質の向上と研鑽を目指し研修内容の充実と参加取り組んできた。また、ケースの課題を一人で抱え込むことが無いよう、朝礼時に訪問の様子についての共有、同行訪問を行うことで職員間での利用者情報の共有ができるようになり、課題解決にむけた助言がより具体的となり、事業所全体で利用者を支援する意識が生まれている。

居宅介護支援事業所では、令和6年度は5名体制で事業運営を行った。

新規依頼は地域の病院や行政からの依頼が6割を占めている。また、家族からの直接依頼も増えている。

相談支援事業では、専従の相談支援専門員2名体制としたことで、他事業所からの引き継ぎ依頼や行政や基幹相談支援センターからの新規依頼が多数あった。同法人内の就労継続支援B型事業所、訪問介護事業所、日常生活自立支援事業、居宅介護支援事業所等との連携が必要なケースもあったが、障がい児、就労、共同生活介護など、幅広いニーズに応じた相談に対応した。

今後も利用者や家族を、他の福祉サービスや行政、社会福祉協議会の他部門とも連携を図りながら支える、多機関協働を意識して業務を行っていく。

訪問介護事業所

① 提供サービス実績

ア 訪問介護事業

利用者数(要介護 1～5)		月平均	前年比	※月平均
		12名	10名減	
令和6年度新規利用者数		10名	10名増	
サービス区分	派遣回数	前年比(回数)	派遣時間	前年比(時間)
身体介護	82回	1回減	47時間	5時間減
身体・生活	36回	145回減	42時間	180時間減
生活援助	123回	32回減	103時間	49時間減
乗降介助	0回	増減なし	0時間	増減なし
自費利用	8回	増減なし	0時間	増減なし
合 計	249回	178回減	192時間	234時間減

イ 総合事業

利用者数 (事業対象者、要支援 1・2)		月平均	前年比	※月平均
		8名	1名増	
令和6年度新規利用者数		7名	7名増	
サービス区分	派遣回数	前年比(回数)	派遣時間	前年比(時間)
サービス A	0回	0回減	0時間	増減なし
訪問型独自 I	12回	6回増	11時間	5時間増
訪問型独自 II	35回	3回減	35時間	3時間減
訪問型独自 III	2回	8回減	2時間	7時間減
合 計	49回	5回減	48時間	5時間減

ウ 障害福祉サービス事業

利用者数		月平均	前年比	※月平均
		35名	4名減	
令和6年度新規利用者数		14名	13名増	
総合支援給付	派遣回数	前年比(回数)	派遣時間	前年比(時間)
重度訪問介護	0回	増減なし	0時間	増減なし
身体介護	8回	6回減	7時間	12時間減
家事援助	98回	1回減	97時間	1時間増
通院介助	2回	増減なし	7時間	1時間増
行動援護	5回	1回増	7時間	1時間増
同行援護	33回	2回減	51時間	9時間減
移動支援	23回	1回増	26時間	2時間増
自費利用	0回	増減なし	0時間	増減なし
合 計	169回	9回減	195時間	17時間減

② ミーティング

連絡事項、利用者情報共有を目的として（毎週月曜日）

③ 勉強会

介護技術、介護計画の理解、接遇等毎回テーマを設け、介護技術の向上を目的として
（月1回）

④ 研修会への参加

介護福祉士会等主催の研修会に参加

職員を対象に外部講師による研修を開催（高齢者虐待対応研修）

強度行動障がい従事者養成研修 1名

同行援護従事者養成研修参加 1名

⑤ 実習生の受入

長野県福祉大学校 3名

⑥ 社協見学会の実施

長野県福祉大学校介護福祉学科の学生を対象に開催（6月12日）

⑦ 令和6年度総評

利用者が自宅において、その人らしく、望む暮らしが継続できるような支援に注力した。毎週のミーティングにおいて情報共有を行い、利用者の変化に対し早期発見ができ、情報共有できるようになっている。さらに質の向上を目指し、介護過程の展開ができる人材育成が必要である。

毎月のミーティングを通じて、働きやすい環境づくりにも取り組み、職員間の関係を良好に保つことが出来ている。

令和6年3月で職員の状況に合わせ、サービス提供量の調整（利用者の減員）を行い利用者は29名（介護保険利用者12名・障害福祉サービス利用者17名）でのスタートとなったが、体制の再構築を行い、令和6年度は新規利用者を計31名（総合事業利用者7名・介護保険利用者10名・障害福祉サービス利用者14名）増やすことが出来た。またサービス内容を見直すことで、まだまだ十分ではないが収入の見直しも行えた。

なお、6月に実施した長野県福祉大学校を対象とした社協の見学会は好評であった。

就労継続支援 B 型事業所「ひだまり作業所」

① 提供サービス実績

開 所 日 時	週 5 日(月～金) 9:00～15:00
開 所 日 数	242 日 (前年度 240 日)
延べ年間通所者数	3,125 名 (前年度 3,252 名)
1 日平均通所者数	12.9 名 (前年度 13.6 名)
年間在籍通所者実数	20 名(内訳 男性 12 名 女性 8 名)
市町村別内訳	岡谷市 18 名 下諏訪町 2 名
令和 6 年度新規通所者	6 名(内訳 男性 2 名 女性 4 名)
令和 6 年度退所者	4 名(内訳 男性 2 名 女性 2 名) 施設入所 男性 1 名 女性 1 名 支給決定期限切れ 男性 1 名 自己都合 女性 1 名
令和 6 年度通所希望見学者	20 名 / 延べ体験日数 44 日
令和 6 年度開催行事	スイーツの会 カラオケ会等実施 ※バスハイクを 5 年ぶりに実施

② ミーティング

・連絡事項、利用者支援に関する情報共有、行事計画、作業方法、進行状況等の情報共有を図るため、定例的に開催した。

③ 研修会の開催・参加

- ・嘱託医、行政職員に参加してもらい、連絡会を開催した。
また、産業医による作業所内の巡回を実施し、利用者の現在の様子を把握してもらった。
- ・職場内での研修等に全職員が積極的に参加した。

④ 令和 6 年度総評

令和 6 年度の延べ年間通所者数は、前年度の 3,252 人から 3,125 人へ 127 人減少し、また 1 日あたりの平均通所者数も 13.6 人から 12.9 人と減少した。

安定して利用していた通所者が長期入院となった利用者が多く、その後退所となる利用者がいたことから減少したが、並行して新規利用者の獲得に向けて積極的に取り組んできた。

後半では、多くの見学者、体験希望者を受け入れてきた、新規通所にも繋がっており、通所者のほとんどが精神保健福祉手帳を所持しており、精神面の不調による不安定な利用者の

ケアに苦慮してきたが、日常の声掛けやコミュニケーションを大切にし、支援につなげることができたため、年間を通して安定して通所できた利用者も多かった。

作業面では、箱折りやお菓子の箱詰めなど、物価高騰など景気に左右されるものも多く、2月、3月と受注数が激減したものもあったが、新たに除草や庭木の剪定作業などの業務も積極的に受け入れながら令和5年度より4%増の売上となり、利用者の平均工賃も16,000円を超えた。
(昨年度実績 14,700円)

IV. 法人経営実績報告

第1次岡谷市社会福祉協議会経営計画の運用

令和4年度に策定した経営計画の2年目として、各担当・事業所で活動方針、推進目標や重点項目の達成に向け、日々の話し合いや意識付けを大切に、年度の後半では計画の進捗状況や課題等をチェックし、令和7年度に向けて検討を重ねた。

また、近年の収支悪化に伴う経営状況からの脱却、健全な経営基盤確立のために財政改革に特化した経営改善計画を策定し、経営計画終期での黒字転換を目標に全職員で取り組むこととした。

(1) 組織運営、人事、労務管理

・組織強化・体制の整備

期間中新入職員 7名

4月 1日付	正規職員 3名
5月 1日付	ホームヘルパー 1名
5月 7日付	おかや総合福祉センター臨時職員 1名
6月 1日付	嘱託ホームヘルパー 1名、パートホームヘルパー 1名

・重層的支援体制整備事業への職員出向

岡谷市からの要請を受け、令和6年4月1日より社会福祉士資格を有する職員1名が岡谷市へ出向し、重層的支援体制整備事業を担当している。

・人材育成

ソーシャルワーク実習（社会福祉士）受入 180時間 1名（松本大学）

介護福祉士実習生受入 3名（長野県福祉大学校）

社協見学会の実施 17名（長野県福祉大学校）

職員向け虐待防止研修 9月19日 講師：松谷 学 氏（職員参加21名）

・多様な働き方の導入

就労継続支援B型事業所において、昨年度より引き続き社協OG職員7名の協力を得ることができ、週1日～週2日／4時間での雇用契約を交わした。

・福利厚生事業

生活習慣病予防健診、インフルエンザ予防接種の実施など職員の健康管理に努めた。

職員が働きながら様々な資格取得に挑戦できるよう、費用の一部を助成するため資格取得支援制度を規程化し、業務に対するモチベーションの向上に努めた。

(2) 財務体制の強化

・財源の確保

社協会費

6月25日 会費収納説明会 7月1日～8月31日 社協会費納入期間

実績額 15,989,700円

【内 訳】	一般会費	9,543件	9,523,900円
	賛助会費	3,088件	6,465,800円

赤い羽根共同募金

共同募金運動 (運動期間10月1日～12月31日)

実績額 14,571,188円

【内 訳】			
・地区	21 地区	12,942,349円	・窓口 1,523,104円
・学校	71,451円	・募金箱等	34,284円

10月1日から12月31日で赤い羽根共同募金運動を展開した。

サマーチャレンジ2024のボランティアさんに募金箱を作成してもらい、市長室や、飲食店に設置した。

募金実績額は年々減少傾向にあり目標額を上回ることができなかったが、市内およそ11,500世帯の市民から協力を得ることができた。

・効果的な運用

基金・積立金は国債、定期預金により運用している。

リスクの低い運用方法で行うことを第一に考えて検討を続けていく。

V. 岡谷市社会福祉協議会事業推進組織・役職員体制

令和7年3月31日現在

(1) 役 員

理事会	事業執行機関	会長 1 名・副会長 3 名・常務理事 1 名・理事 9 名
監事	事業・会計監査	学識経験者 1 名・税理士 1 名
評議員会	議決機関	地域・各種団体代表等 15 名

(2) 職 員

事務局	事務局長兼常務理事	1 名〔 1 名〕	
	岡谷市成年後見支援センター	2 名〔 2 名〕	正規職員 2 名(内 1 名市出向職員)
	日常生活自立支援事業	4 名〔 4 名〕	正規職員 3 名・臨時生活支援員 1 名
	地域福祉・ボランティア	7 名〔 6 名〕	正規職員 6 名(ひだまりの家職員含む)・臨時職員 1 名
	生きがいづくりデイサービス	5 名〔 5 名〕	正規職員 1 名・臨時援助員 4 名
	結婚相談所	0 名〔 1 名〕	
事業所	事業所管理・事務	2 名〔 2 名〕	正規職員 1 名・臨時職員 1 名
	居宅介護支援事業所	7 名〔 6 名〕	ケアマネージャー・相談支援専門員(正規 5 名・嘱託 2 名)
	訪問介護事業所	12 名〔13 名〕	ホームヘルパー(正規 2 名・嘱託 1 名・パート 9 名)
	ひだまり作業所(B 型作業所)	10 名〔14 名〕	所長(兼務)・指導員(正規 2 名・臨時 8 名)
おかや総合福祉センター		11 名〔10 名〕	館長(嘱託 1 名)・事務員兼業務員(嘱託 2 名・臨時 8 名)
岡谷市へ出向		1 名〔 0 名〕	
合 計		62 名〔64 名〕	

〔 〕内は前年度末日現在の職員数を表示

VI. 主たる事業・会議等の開催

月 日	説 明	月 日	説 明
4月		5月	
4 日	生きがいデイサービス地区援助員会議	9 日	法人経営会議
6 日	OVNチャリティーコンサート	10 日	横川地区社協福祉推進会議
16 日	地区社協役員研修会	14 日	諏訪ブロックボランティア担当者会議
17 日	法人経営会議	15 日	岡谷市成年後見制度特設相談会
20 日	終活セミナー	20 日	第 1 回シェアカフェ事業
22 日	地区社協会長会監査会	21 日	石川県能登町災害救援ボランティアパック
25 日	小口地区社協福祉推進委員会	~23 日	
26 日	共同募金事務担当者会議	22 日	岡谷市高齢者クラブ連合会総会
		29 日	社協・共同募金委員会監査
		30 日	法人後見・県内センター連携会議
6月		7月	
6 日	岡谷市成年後見支援センター運営委員会 DSAT運営委員会	3 日	共同募金全国ミーティング in ながの
8 日	終活講演会	~4 日	
10 日	社会福祉推進校連絡会議	4 日	生きがいデイサービス地区援助員会議
11 日	理事会、評議員選任・解任委員会 福祉推進校連絡会議	8 日	諏訪ブロック局長次長会議
12 日	法人経営会議	9 日	サマーチャレんじ 2024 事前説明会
14 日	地区社協会長会総会	10 日	法人経営会議
17 日	石川県能登町DSAT派遣	17 日	岡谷市成年後見制度特設相談会
~21 日		25 日	諏訪ブロックボランティア担当者会議
19 日	高齢者クラブ連合会ブロック研修会 諏訪湖ハイツ防災訓練	30 日	4 センター連絡会
21 日	6 カ地区社協研修会		
25 日	社協会費収納説明会 共同募金委員会審査委員会		
27 日	評議員会		
28 日	障害者福祉推進実行員会総会 共同募金委員会運営委員会		
8月		9月	
3 日	終活セミナー	5 日	生きがいデイサービス援助員会議
8 日	諏訪ブロック社協総会	6 日	理事会
14 日	太鼓祭りふれあい踊り連	11 日	朗読講座
21 日	法人経営会議兼虐待防止対策等委員会		法人経営会議
22 日	社会福祉法人指導監査	12 日	諏訪ブロック局長次長会議
27 日	地区社協会長会懇談会	13 日	成年後見制度県域スキルアップ研修会
28 日	北部中学校福祉学習会		法人経営会議
	4 センター連絡会	14 日	福祉大運動会
30 日	生きがいデイボランティア養成研修	17 日	生きがいデイボランティア養成研修
		18 日	成年後見制度特設相談会
		22 日	石川県珠洲市関東ブロック派遣
		~27 日	
		24 日	共同募金収納事務説明会
		25 日	朗読講座
		28 日	ふれあいの集い
		30 日	生きがいデイボランティア養成研修 諏訪ブロックボランティア担当者会議

10月 1日 赤い羽根共同募金運動開始 2日 朗読講座 5日 終活セミナー 6日 諏訪ブロックボランティア交流研究集会 7日 生きがいデイサービス援助員会議 9日 朗読講座 生きがいデイボランティア養成研修 12日 ふれあい祭り&ボランティア祭り 16日 法人経営会議 22日 4センター連絡会 23日 高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 24日 石川県珠洲市支援P運営支援者派遣 ~29日		11月 1日 東高校福祉学習会 13日 湊小学校福祉学習会 法人経営会議 14日 石川県珠洲市支援P運営支援者派遣 ~19日 14日 湊小学校福祉学習会 15日 湊小学校・東高校福祉学習会 20日 諏訪湖ハイツ 秋防災訓練 岡谷市成年後見制度特設相談会 高齢者クラブ連合会カラオケ芸能大会 21日 4センター連絡会・湊小学校福祉学習会 Share★Café・湊小学校福祉学習会 27日 地区社協会長会視察研修(東御市社協)	
12月 2日 上の原小学校福祉学習会 3日 上の原小学校福祉学習会 5日 生きがいデイサービス援助員会議 11日 法人経営会議 13日 東部中学校福祉学習会 14日 終活セミナー 17日 上の原小学校福祉学習会 18日 上の原小学校福祉学習会 24日 4センター連絡会		1月 15日 成年後見制度特設相談会 16日 諏訪ブロックボランティア担当者会議 22日 法人経営会議 24日 障がいを理解するための学習会 28日 理事会 30日 地域福祉ネットワーク会議 31日 地区社協会長会市長との懇談会	
2月 6日 成年後見支援センター運営委員会 7日 生きがいデイサービス援助員会議 15日 岡谷市社会福祉大会 18日 共同募金委員会審査委員会 19日 法人経営会議兼虐待防止対策等委員会 21日 高齢者クラブ連合会作品展 ~24日 健康麻雀大会		3月 6日 生きがいデイサービス援助員会議 12日 法人経営会議 17日 理事会 18日 社会福祉法人トップセミナー 19日 成年後見制度特設相談会 25日 4センター連絡会 27日 評議員会 28日 おかやボランティア連絡協議会総会	

【その他定例会議／毎月開催】 ・社協正副会長会 ・民生児童委員協議会会長会 ・おかやボランティア連絡協議会定例会
・岡谷市高齢者クラブ連合会三役会・理事会 ・職員(全体)ミーティング ・事務局ミーティング